



初代五姓田芳柳《新潟萬代橋図》(部分) 明治21(1888)年 新潟市歴史博物館蔵

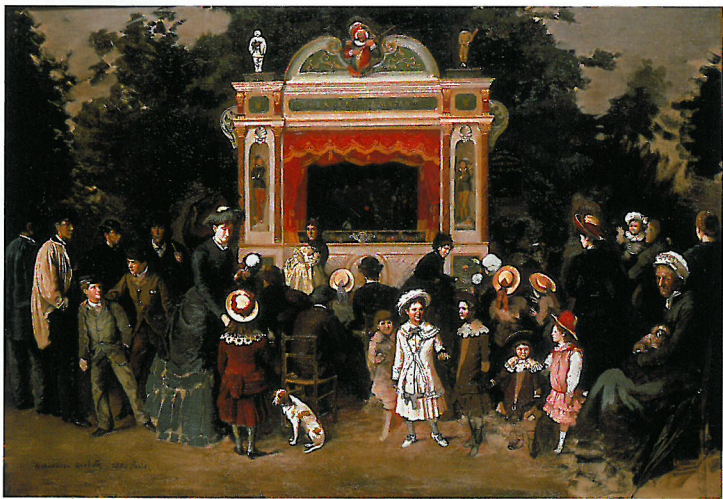
五姓田のすべて

近代絵画への架け橋

岡山県立美術館では、幕末から明治初頭の絵画において注目すべき動向であった、「五姓田派」を総合的に紹介する初の展覧会として、『五姓田のすべて―近代絵画への架け橋―』を開催します。

「五姓田派」とは、五姓田芳柳(1827-1922)と彼に学んだ画家たちのことです。芳柳は独学で西洋画法を学び、幕末から明治初頭の横浜で、絹地に独特の肖像画や風俗図を描き、人気を博しました。門人には、渡欧して熟練した油彩画の技術を身につけた、芳柳の実子・五姓田義松や山本芳翠がいます。また義松の妹・幽香と結婚した渡辺文三郎(矢掛町出身)や、自著『明治初期洋画壇回顧』で当時の動向を活写する平木政次(高梁市出身)など、岡山ゆかりの作家が多く含まれていることが特筆されます。

本展は、《西洋の衝撃》と対峙し、近代化を強力に推し進めた頃の、我が国の時代精神を如実に反映する、これら「五姓田派」の画家たちを、その代表作とともに紹介するものです。時に「洋画王国」とも称される、岡山の文化的土壌を探る機会ともなるでしょう。



五姓田義松《操芝居》 明治16(1883)年 東京藝術大学蔵



渡辺幽香《幼児図》 明治26(1893)年 横浜美術館蔵



渡辺文三郎《海浜図》 制作年不詳 東京国立博物館蔵



平木政次《板倉勝静像》 明治15(1882)年 高梁市歴史美術館蔵



松原三五郎《婦女図》 明治時代
大阪市立近代美術館建設準備室蔵



山本芳翠《浦島図》 明治26-28(1893-95)年頃 岐阜県美術館蔵

展覧会関連事業

◎連続講座(全3回)

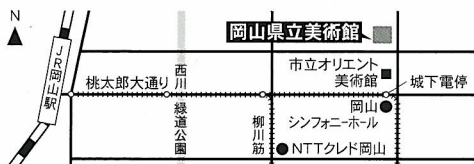
- 10/11(土) 講師 木下直之氏(東京大学大学院教授)
- 10/19(日) 講師 赤木里香子氏(岡山大学大学院准教授)
- 10/26(日) 講師 角田拓朗氏(神奈川県立歴史博物館学芸員)
- 廣瀬就久(当館学芸員)

○担当学芸員によるフロアレクチャー

10/13(月) 14時、10/24(金)、11/9(日)
[時間]14時、24日は18時、当日は19時まで開館、入館は18時30分まで。
[会場]2F展示室。展覧会観覧券が必要です。

■交通案内【JR岡山駅東口から】

- 徒歩: 15分
- 路面電車: 東山行「城下」下車徒歩3分
- 宇野バス: 四御神/瀬戸駅/片上方面行「表町入口」下車徒歩3分
- 岡電バス: 藤原団地行「美術館前」下車すぐ



岡山県立美術館

The Okayama Prefectural Museum of Art

〒700-0814 岡山市天神町8-48 TEL.086-225-4800

http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kenbi/index.html